

## 適正使用情報

### サブラッド-BD を安全に使用していただくために

#### サブラッド-BD を使用する場合は、使用前に必ず混合すること。

混合しない場合、浸透圧の低い B 液（下室：浸透圧比：0.1）が単独投与され、電解質異常、溶血等を生じ、重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

サブラッド-BD を使用中の患者から異常の訴えまたは装置の警報（漏血、液きれ）が鳴った場合、

#### 1. サブラッド-BD が混合されているかを確認すること。

透析時の溶血事故の初期症状として、血圧の上昇・低下、気分不快、息苦しさ、発汗（冷感）、嘔吐、背中への張り感、胸部圧迫感、腹痛、顔面紅潮等が知られています。

透析中に溶血が生じると回路内の血液が赤ワインのような色になることが知られています。

#### 2. サブラッド-BD が混合されていないことがわかった場合、直ちに使用を中止し、適切な処置を講じること。

浸透圧の低い（浸透圧比：0.1）B 液単独投与においては、溶血及び低 Na 血症の起こる可能性、特に溶血に伴う高 K 血症及び遊離ヘモグロビンによる腎障害、急性膵炎等が心配される。また、溶血した血球から K が放出され高 K 血症になると筋力低下、心電図異常、心停止が危惧される。

#### 処置：

溶血の確認検査項目：血清 K 値、Ht 値、遊離ヘモグロビン、LDH、AST(GOT)等

溶血がみられた回路内の血液は返血せず廃棄し、正しい透析液による透析を継続する（高 K 血症に対して）。必要に応じて、再透析を行なう。

対症療法として、生理食塩液、ブドウ糖補液、10%食塩液の注入、Ca 製剤・ハイドロコチゾン製剤の投与を行なう。

溶血が強度と診断された場合には、カットオフポイントの高い蛋白漏出型のフィルターによる HF や HDF を行なう。血漿交換療法や輸血も考慮する。

#### 参考資料：

- 1) 臨床透析，5（7），963-965（1989）
- 2) 臨床透析，5（7），973-976（1989）
- 3) 旭中央医報，19（1），85-87（1997）

**投与前に再度混合されているかどうか、確認して下さい**

連絡先：扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 医薬情報部門  
〒536-8523 大阪市城東区森之宮2丁目3番30号  
TEL：06-6969-3131